2. 流域及び河川の自然環境

2.1　流域の自然環境

久慈川の源流である八溝山はクスノキ、タブノキ、カシ類等の暖温帯性植物とブナ等の冷温帯性植物の太平洋側における接点として知られ、動植物の種類が多い地域である。また、八溝山には、茨城県では珍しいブナ林が広がるとともに、1,000m級の山には珍しい、亜高山性のダケカンバが 900m 付近でも自生する。一方、スギやヒノキなど地域の重要な林業資源の場となっている。上流部の棚倉町から塙町（はなわまち）、矢祭町までの区間は、八溝山地と阿武隈山地の間を走る棚倉破砕帯（棚倉断層）によって形成された細長い谷底平野が広がり、河川の周囲は水田や市街地が見られる。

中流部の八溝山地と阿武隈山地の間を流れる渓谷は奥久慈渓谷（おくくじけいこく）と呼ばれ、周囲は福島県と茨城県により、奥久慈県立自然公園に指定されている。久慈川の砂礫河原と斜面林からなる環境では、多種の植物や動物を見ることができる。左岸の男体山（なんたいさん）一帯は奥久慈自然休養林に指定されており、八溝山と同様にブナ、ミズナラ林があり、キブシ、マンサクなどが見られるほか、ニッコウキスゲ、スカシユリ、イワキボウシなどの草花が自生している。

下流部の岩井橋下流から平地に入る。浅川合流点付近まで、標高 50m から 90m の比較的平坦な那珂台地の中を流れ下る。那珂台地は久慈川・那珂川が運んだ砂礫の堆積物で構成されており、久慈川の両岸には２～３段の河岸段丘が形成されている。段丘上には市街地が発達し、農地（主に畑）もみられる。川沿いの久慈川の氾濫原は水田地帯となっており、自然堤防や低い段丘上に屋敷林をもつ農村集落が分布する。

2.2　河川の自然環境

(1) 上流部（源流～矢祭橋）

源流の八溝山は福島県と茨城県から同名の「奥久慈県立自然公園」に指定され、クスノキ、タブノキ、カシ類等の暖温帯性林とブナ等の冷温帯性林が分布する等、多様な植生が見られ、林野庁から「八溝山学術参考保護林」に指定されている。

源流を北東方向に下った後、流れを南に変え、八溝山地と阿武隈山地に挟まれた、棚倉断層によって形成された谷底平野をほぼ直線的に流れ下る。久慈川の周囲は水田が広がり、狭い高水敷にヨシ、ツルヨシ等の植生が見られる。水域は瀬・淵が連続し、アユやウグイの生息・産卵場となっている。

上流部の状況
（棚倉町　河口から 103km）

八溝山学術参考保護林の標識
（大子町）

ウグイ（コイ科　婚姻色）

写真2-1　上流部の自然環境

(2) 中流部（矢祭橋～岩井橋）

写真2-2　中流部の状況
（大子町　河口から 60km）

久慈川は矢祭橋を過ぎると、八溝山地と阿武隈山地を刻んだ美しい渓谷の中、穿入蛇行を繰り返しながら流下する。渓流はこの渓谷と周辺の山々は福島県と茨城県から奥久慈県立自然公園に指定されている。阿武隈山地の南端に位置する久慈山地の景勝地である袋田の滝周辺には、安山岩質集塊岩の山地にのみ生息する、土地の名をとったフクロダガヤが生育している。大小の礫からなる河床と蛇行した流れが生み出した連続した瀬と淵は、アユやサケ、ウグイやオイカワの良好な生息場や産卵場となっており、周辺の渓流には、清流の魚イワナ、ヤマメ、カジカ等が見られる。また、川沿いの土手や崖地に営巣し、瀬を餌場とするヤマセミが生息している。

アユ（アユ科）

フクロダガヤ（イネ科）

ヤマセミ（カワセミ科）

（写真：茨城県版レッドデータブック）

写真2-3　中流部で見られる生物

(3) 下流部（岩井橋～河口）

写真2-4　下流部の状況
（常陸大宮市　河口から 26km）

常陸大宮市の岩井橋周辺から久慈川は平地に入り、川幅も広がり中州が多く見られるようになる。発達した砂州にはイカルチドリやコアジサシの繁殖地が点在する。河川は中流部から連続した瀬と淵が見られ、アユ、サケ等の魚類の生息場、産卵場となっている。水辺には、オギ、ヨシ群落が分布している他、水害防備林として造林された竹林が常陸大宮市を流れる区間で多く見られる。この付近から粟原地区にかけてはサシバ、ノスリ等の猛禽類が多く見られる。

粟原床固周辺は旧川跡の池沼や湿地、ヨシ原、樹林、斜面林、崖地等の多様な環境から構成され、多種の動植物が生息・生育する。川沿いの水辺にはヨシが群生し、カヤネズミが生息している。右岸の湿地にはミクリやタチヤナギ、オニグルミ等が見られる。

粟原床固より下流付近からは、山田川や里川などの支川を合わせ、沖積平野を流下する。沿川は、農耕地、運動場などとしての利用が多く、植生としてはセイタカアワダチソウなどの外来種が目立つようになる。一部にオギ、ヨシ群落が分布するほか、里川合流点下流の樹林にはサギ類のコロニーが見られる。河口付近の汽水域では、ボラやスズキ、マハゼ等の魚類が多く見られる。

イカルチドリ（チドリ科）

カヤネズミ（ネズミ科）

写真2-5　下流部で見られる生物

(4) 久慈川水系における特定種

1) 大臣管理区間

河川水辺の国勢調査において確認された生物種から、久慈川水系大臣管理区間における特定種を環境省レッドデータブック・リスト記載種、国指定天然記念物指定種等の学術上または希少性の視点から抽出し、特定種とした。表 2-1、表 2-2に現地調査で実際に確認された特定種を示す。

表2-1　久慈川水系における特定種（大臣管理区間-1）

調査対象（調査年度）	種名	指定区分	確認区間				
			本川下流（0-13.5k）	本川中流（13.5-25.0k）	本川上流（25.0-31.0k）	里　川	山田川
植物（平成 14 年度）	ｸﾏｶﾞｲｿｳ	危惧Ⅱ、県			○		
	ｺｳﾓﾘｶｽﾞﾗ	県			○		
	ﾀｺﾉｱｼ	危惧Ⅱ、県	○				○
	ﾐｸﾘ	準絶滅、県	○		○		
魚介類（平成 17 年度）	ｳﾂｾﾐｶｼﾞｶ	危惧Ⅱ、県		○	○	○	
	ｵｵﾖｼﾉﾎﾞﾘ	県	○	○			
	ｷﾞﾊﾞﾁ	危惧Ⅱ、県		○	○	○	○
	ｽﾅﾔﾂﾒ	危惧Ⅱ、県				○	
	ﾇｶｴﾋﾞ	県	○	○	○	○	○
	ﾎﾄｹﾄﾞｼﾞｮｳ	危惧ⅠB、県				○	
	ﾒﾀﾞｶ	危惧Ⅱ、県	○				
	ﾔﾘﾀﾅｺﾞ	県	○	○		○	○
底生動物（平成 17 年度）	ｷｲﾛﾔﾏﾄﾝﾎﾞ	危惧Ⅱ、県		○			○
	ｷﾎﾞｼﾂﾌﾞｹﾞﾝｺﾞﾛｳ	準絶滅				○	
	ﾇｶｴﾋﾞ	県	○	○	○	○	○
鳥　類（平成 16 年度）	ｱｵﾊﾞｽﾞｸ	県					○
	ｲｶﾙﾁﾄﾞﾘ	県	○	○	○	○	○
	ｲｿﾋｺﾄﾞﾘ	県	○				
	ｵｵﾀｶ	保存、危惧Ⅱ、県		○	○	○	○
	ｵｼﾄﾞﾘ	県					○
	ｶﾝﾑﾘｶｲﾂﾌﾞﾘ	県	○				
	ｺｱｼﾞｻｼ	危惧Ⅱ、県		○			
	ｺｼｱｶﾂﾊﾞﾒ	県	○	○			○
	ｻｻｺﾞｲ	県	○				
	ｼﾉﾘｶﾞﾓ	県	○				
	ｼﾛﾁﾄﾞﾘ	県	○				
	ﾁｭｳｻｷﾞ	準絶滅	○	○	○	○	○
	ﾁｭｳﾋ	危惧Ⅱ、県		○			
	ﾂﾐ	県		○			
	ﾊｲﾀｶ	準絶滅、県	○				
	ﾊﾔﾌﾞｻ	保存、危惧Ⅱ、県		○			
	ﾋﾒｱﾏﾂﾊﾞﾒ	県		○			
	ﾏｶﾞﾝ	国天、準絶滅、県	○				
	ﾐｻｺﾞ	準絶滅、県	○	○	○		
	ﾔﾏｾﾐ	県			○		
陸上昆虫類（平成 15 年度）	ｱｲﾇﾊﾝﾐｮｳ	県、茨特 1、茨特 2			○		
	ｱｵﾏﾂﾑｼ	重要、茨特 1、茨特 2		○	○		
	ｱｶｽｼﾞｶﾒﾑｼ	県、茨特 2		○	○		○
	ｱｶｽｼﾞｷﾝｶﾒﾑｼ	茨特 1		○			
	ｱｼﾅｶﾞﾐｿﾞﾄﾞﾛﾑｼ	県		○			○
	ｱﾒﾘｶｼﾛﾋﾄﾘ	茨特 1		○			
	ｲﾁﾓｼﾞﾋﾒﾖﾄｳ	県、茨特 1、茨特 2		○			
	ｲﾎﾞﾀｶﾞ	重要		○			
	ｴｻｷｱﾒﾝﾎﾞ	準絶滅、県、重要、茨特 1、茨特 2		○			
	ｵｵｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ	重要		○			○
	ｵｵﾊｷﾘﾊﾞﾁ	重要				○	○
	ｵｵﾏﾙﾊﾅﾊﾞﾁ	県	○	○	○	○	○
	ｷｲﾛﾔﾏﾄﾝﾎﾞ	危惧Ⅱ,県、茨特 1、茨特 2					○
	ｷﾞﾝｲﾁﾓﾝｼﾞｾｾﾘ	準絶滅		○	○	○	○
	ｷﾞﾝﾔﾝﾏ	重要		○			
	ｺﾑﾗｻｷ	茨特 1			○	○	○
	ｻﾗｻﾔﾝﾏ	重要、茨特 1、茨特 2					○
	ｼﾌﾞｲﾛｶﾔｷﾘﾓﾄﾞｷ	茨特 2		○	○	○	
	ｼﾛｵﾋﾞﾄﾘﾉﾌﾝﾀﾞﾏｼ	茨特 1、茨特 2		○	○		
	ｼﾛﾍﾘﾂﾁｶﾒﾑｼ	準絶滅		○			
	ｾｸﾞﾛｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ	重要				○	
	ﾀｲｺｳﾁ	重要			○		
	ﾀｶﾞﾒ	危惧Ⅱ、県、重要、茨特 1、茨特 2		○			
	ﾄﾗﾏﾙﾊﾅﾊﾞﾁ	重要	○	○	○	○	○
	ﾅｶｼﾞﾛｼﾀﾊﾞ	茨特 1、茨特 2	○			○	
	ﾅｶﾑﾗｵﾆｸﾞﾓ	茨特 2	○	○	○		○
	ﾊﾞﾊﾞｱﾒﾝﾎﾞ	準絶滅、県、茨特 1、茨特 2		○			

※ 指定区分については下記のとおり。
国天：国指定天然記念物、保存：種の保存法に基づく国内希少野生動植物種、危惧ⅠB：環境省 RDB 絶滅危惧ⅠB 類（EN）、危惧Ⅱ：環境省 RDB 絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅：環境省 RDB 準絶滅危惧（NT）、不足：環境省 RDB 情報不足（DO）、地域 RL：環境省 RDB 地域個体群（Lp）、県：茨城県版 RDB 掲載種、自然：環境庁「第 1 回緑の国勢調査（1973）」における「すぐれた自然の調査」対象種、重要：環境庁「第 2 回緑の国勢調査（1978）」における「日本の重要な昆虫類」指定種、茨特 1：茨城県「茨城の特定動植物の分布」（昭和 58・59 年）の選定種、茨特 2：茨城県「茨城の特定動植物の分布」（平成 5・6 年）の選定種

表2-2　久慈川水系における特定種（大臣管理区間-2）

調査対象 （調査年度）	種名	指定区分	確認区間				
			本川下流 （0-13.5k）	本川中流 （13.5-25.0k）	本川上流 （25.0-31.0k）	里　川	山田川
陸上昆虫類 （平成 15 年度）	ﾊﾝｹﾞﾂｵｽﾅｷｸﾞﾓ	県		○			
	ﾋﾒｵｵﾒﾅｶﾞｶﾑﾑｼ	茨特 2	○	○			○
	ﾋﾒｶﾏｷﾘﾓﾄﾞｷ	重要					○
	ﾋﾒｺｵﾛｷﾞ	茨特 2			○		
	ﾋﾒﾏｲﾏｲｶﾌﾞﾘ	重要		○			○
	ﾌﾞﾁﾋｹﾞｶﾑﾑｼ	県、茨特 2	○		○		
	ﾏﾂﾑｼ	県、茨特 1、茨特 2	○				
	ﾐｶﾄﾞﾄｯｸﾘﾊﾞﾁ	重要			○	○	
	ﾐｽﾞｶﾏｷﾘ	重要		○			○
	ﾑﾗｻｷｼｼﾞﾐ	茨特 1		○			
	ﾒｽｱｶｹﾊﾞｴ	重要	○	○		○	
	ﾔﾏﾄﾋﾒﾒﾀﾞｶｶｯｺｳﾑｼ	県		○	○		
両・爬・哺 （平成 13 年度）	ｶﾔﾈｽﾞﾐ	県	○	○	○	○	○

※ 指定区分については下記のとおり。
国天：国指定天然記念物、保存：種の保存法に基づく国内希少野生動植物種、危惧ⅠB：環境省 RDB 絶滅危惧ⅠB 類（EN）、危惧Ⅱ：環境省 RDB 絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅：環境省 RDB 準絶滅危惧（NT）、不足：環境省 RDB 情報不足（DO）、地域 RL：環境省 RDB 地域個体群（Lp）、県：茨城県版 RDB 掲載種、自然：環境庁「第１回緑の国勢調査（1973）」における「すぐれた自然の調査」対象種、重要：環境庁「第２回緑の国勢調査（1978）」における「日本の重要な昆虫類」指定種、茨特１：茨城県「茨城の特定動植物の分布」（昭和 58・59 年）の選定種、茨特２：茨城県「茨城の特定動植物の分布」（平成５・６年）の選定種

2）指定区間

久慈川水系の茨城県・栃木県・福島県の指定区間における特定種を、環境省レッドデータブック・リスト記載種、国指定天然記念物指定種、県のレッドデータブック、県の調査資料等より学術上または希少性の視点から抽出し、特定種とした。表 2-3に選定した特定種を示す。

表2-3　久慈川水系における特定種（茨城県・栃木県・福島県指定区間）

県	確認河川・エリア	分類	種名	指定状況
茨城県	久慈川	魚類	オオヨシノボリ	県
			ギバチ	危惧Ⅱ,県
			メダカ	危惧Ⅱ,県
		底生生物	ヌカエビ	県
	浅川	魚類	ギバチ	危惧Ⅱ,県
	玉川	鳥類	ガン（ﾏｶﾞﾝ）	国天、準絶滅,県
栃木県	押川	魚類	ヤリタナゴ	県
			アカヒレタビラ	県
		底生生物	カワシンジュガイ	危惧Ⅱ,県
			クリイロキセルモドキ	県
		鳥類	オオタカ	危惧Ⅱ,
		植物	ナスヒオウギアヤメ	危惧Ⅱ,県
			オオミズトンボ	絶滅危惧ⅠB類,県
			サギソウ	危惧Ⅱ,県
			アサマフウロ	絶滅危惧ⅠB類,県
			サクラソウ	危惧Ⅱ,県
			ハバヤマボクチ	県
福島県	久慈川水系流域内	植物	ミギワイクビゴケ	危惧Ⅰ,県
			クマノゴケ	危惧Ⅰ,県
			レイジンソウ	県
			ケナシベニバナヤマシャクヤク	県
			ホソベリミズゴケ	県
			オオミズゴケ	危惧Ⅰ,県
			コヒロハハナヤスリ	県
			ヌカボタデ	危惧Ⅱ,県
			ナンブワチガイ	危惧Ⅱ,県
			レンゲショウマ	県
			ツルキツネノボタン	県
			ムベ	県
			ヤシャビシャク	危惧Ⅱ,県
			ヨウラクラン	県
			ウチョウラン	危惧Ⅱ,県
			カヤラン	県
			ハクウンラン	県
			ヌマゼリ	危惧Ⅱ,県
			ヤマトミクリ	危惧Ⅱ,県
		魚類	スナヤツメ	危惧Ⅰ,県
			ホトケドジョウ	危惧Ⅱ,県
			ギバチ	危惧Ⅱ,県
		鳥類	オオタカ	危惧Ⅱ,県
			ハヤブサ	危惧Ⅱ,県
			チゴモズ	危惧Ⅱ,県
			アカモズ	危惧Ⅱ,県
			ヒクイナ	県
			オオジシギ	県
			クロツグミ	県
			サンショウクイ	県
		昆虫	チャマダラセセリ	危惧Ⅱ,県
			ホシチャバネセセリ	危惧Ⅱ,県
			ヒメシロチョウ	危惧Ⅱ,県
			ツマグロキチョウ	危惧Ⅱ,県

※ 指定区分については下記のとおり。
国天：国指定天然記念物、保存：種の保存法に基づく国内希少野生動植物種、危惧Ⅰ：環境省 RDB 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）、危惧ⅠB：環境省 RDB 絶滅危惧ⅠB 類（EN）、危惧Ⅱ：環境省 RDB 絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅：環境省 RDB 準絶滅危惧（NT）、県：茨城・栃木・福島各県版 RDB 掲載種

2.3　特徴的な河川景観や文化財等

(1) 特徴的な河川景観

1) 上流部（源流～矢祭橋）

久慈川の源流八溝山は、茨城県および福島県の奥久慈県立自然公園に指定され、源流の深い緑の中の渓谷を流れ下る。久慈川は源流から北東方向に下った後に、南に向きを変え、棚倉町から塙町、矢祭町までの久慈川は、棚倉破砕帯（棚倉断層）によって形成された細長い谷底平野を流れ、周囲に広がる市街地や田園地帯を流れ下る特徴的な河川景観となっている。

八溝山の渓谷を流れる久慈川（河口から 110Ｋ）
（棚倉町）

谷底平野を流れる久慈川（河口から 80ｋ）
（矢祭町）

写真2-6　上流部の特徴的な景観

2) 中流部（矢祭橋～岩井橋）

久慈川は矢祭町の矢祭橋から常陸大宮市の岩井橋周辺まで約 40 kmを蛇行しながら山間峡谷部を流れ、この美しい渓谷は奥久慈渓谷と呼ばれている。奥久慈渓谷の上流側にある矢祭山（やまつりやま）周辺は、露岩した河岸と久慈川の美しい清流、サクラやツツジが咲く山肌が重なり合う景観は印象的である。また、紅葉の頃の渓谷美を目当てに多くの観光客が訪れる景勝地となっている。矢祭山から下流の美しい渓流は、周辺の支川や山々とともに、福島県立及び茨城県立奥久慈自然公園に指定されている。中でも支川滝川にある袋田の滝は、高さ 120 メートル、幅 73 メートルの雄大な姿を見せ、四段になって落下することから「四度（よど）の滝」とも呼ばれ、環境省が選定した日本の滝 100 選の一つとなっている。大子町は最も寒い 1 月下旬から 2 月にかけて、川の中を氷がシャーベット状に流れる「シガ」が見られることで知られている。また、5 月から 11 月にかけて、押川合流点の下流に観光やなが設営され、アユをつかみ取りしたり、アユ料理に舌鼓を打つ観光客を多く見かける。

秋の奥久慈渓谷（矢祭山周辺）
（矢祭町）

日本三瀑布　袋田の滝
（大子町）

「シガ」が流れる久慈川
（大子町）

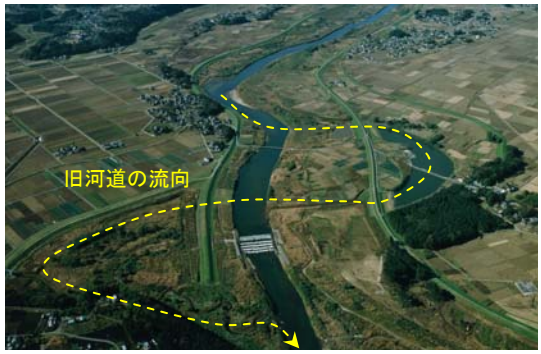
写真2-7　中流部の特徴的な景観

3）下流部（岩井橋～河口）

山間渓谷部を流れ下り、岩井橋を過ぎると辰ノ口堰下流から富岡橋周辺までの堤防沿いには、水害防備林として植林された竹林（マダケ）が連続して分布し、久慈川の連続した瀬・淵とともに美しい流れに映る景観は特徴的なものとなっている。

河口から 14.0ｋに位置する粟原床固周辺は、かつて河道が大きく蛇行していた区間で、昭和30 年代に実施された捷水路（しょうすいろ）工事によって現在の姿となった。崖地、斜面林、旧川跡の三日月湖や湿地、樹林地等の多様な環境が川の周囲にまとまってあり、特徴的な景観を有している。

水害防備林
（常陸大宮市）



多様な河川環境が見られる粟原床固周辺
（那珂市）

写真2-8　下流部の特徴的な景観

【水害防備林について】

常陸大宮市の辰ノ口堰下流から富岡橋上流の 31ｋ～26ｋにかけての両岸には、7 ヶ所の水害防備林としての竹林がある。起源は明らかではないが、江戸時代より竹林は水戸藩によって「御立山（おたてやま）」として保護されてきた。

ほとんどが民有地となっており、組合組織によって管理されている。水害防備林は水流が強く当たる部分や本流と支流の合流点付近に主に分布している。その役割は低水河岸の防護、堤防への水当たりの減勢、氾濫原への土砂流入の抑制を目的としている。

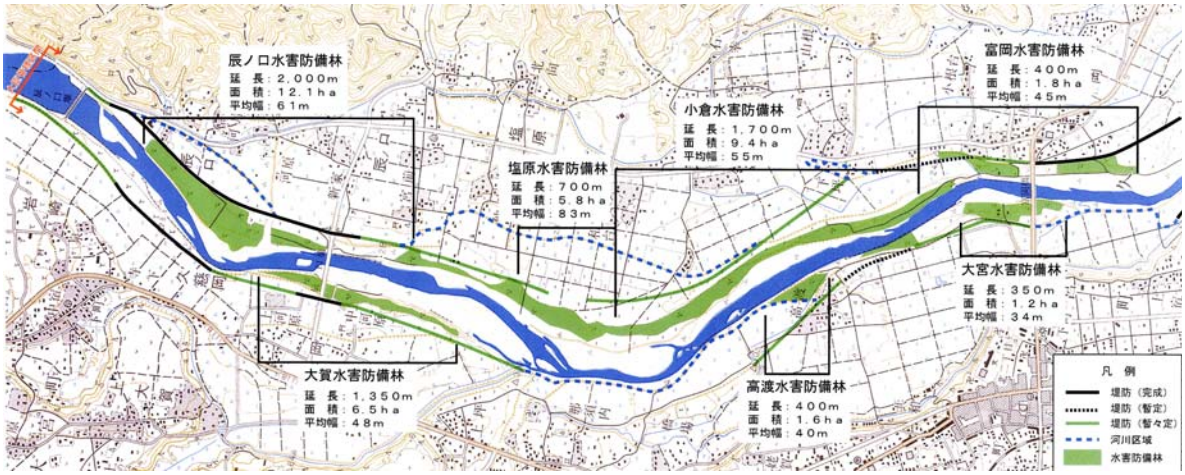


図2-1　水害防備林分布位置図

(2) 文化

1) 名勝・史跡、天然記念物及び文化財の指定状況

久慈川流域の国及び県指定の名勝・史跡及び天然記念物の指定状況を表 2-4、文化財の指定状況を表 2-5に示す。

表2-4　久慈川流域の名勝・史跡及び天然記念物

県	市町村	区分	名称
福島県	棚倉町	県指定名勝	流れ廃堂跡
茨城県	日立市	県指定史跡	助川海防城跡
			泉ケ森
			旧久原本部
			南高野貝塚
			御岩山の三本スギ
			駒つなぎのイチョウ
	常陸太田市	県指定史跡	梵天山古墳群
			山寺水道
			西山荘
			小菅郷校跡
		県指定天然記念物	若宮八幡宮のケヤキ
			真弓神社の爺スギ
			西金砂のイチョウ
			西金砂のサワラ
			香仙寺のシイ
			モチノキ
			泉福寺のシダレザクラ
			高宮神社のカシ
			七反のシダレサクラ
			猿喰のケヤキ
			鏡岩
	那珂市	県指定史跡	瓜連城跡
		県指定天然記念物	静のムクノキ
			不動院のカヤ
			菅谷のカヤ
			菅谷のモチノキ
	大子町	県指定名勝	袋田瀧
		県指定天然記念物	鉾スギ
			文武館跡のケヤキ

表2-5（1）　久慈川流域の文化財

県	市町村	区分	名称
福島県	棚倉町	国指定有形文化財	長覆輪太刀中身無銘
			赤糸威兜残闕付二十五間四方白星兜鉢
			銅鉢
		県指定有形文化財	銅製釣燈籠
			八槻都々古別神社御正体
			馬場都々古別神社御正体
			聖護院道興短冊
			八槻文書
		県指定重要有形民俗文化財	八槻都々古別神社の古面
		県指定重要無形民俗文化財	八槻都々古別神社の御田植
			八槻都々古別神社の神楽
	鮫川村	県指定重要文化財	木造薬師如来像金剛力士立像
茨城県	日立市	国指定有形民俗文化財	日立風流物（山車）
		国指定無形民俗文化財	日立風流物
		県指定有形文化財	小野家住宅
			絹本著色阿弥陀如来来迎図
			木造釈迦如来三尊像
			木造大日如来坐像
			木造観音菩薩坐像
			木造万年大夫夫婦坐像（胎内像含）
			木造薬師如来坐像
			木造聖徳太子坐像
			古鏡
			蒔絵鏡箱
			大般若波羅蜜多経
			訂正常陸国風土記版木（附箱板２枚）
			日立風流物人形頭
			日立のささら
			十王台遺跡出土十王台式土器
	常陸大宮市	国指定有形文化財	佐竹寺本堂
			旧茨城県立太田中学校講堂
			木造薬師如来坐像
		国選択無形文化財	西の内紙
		県指定有形文化財	絹本著色窓国師頂相″
			絹本著色月山和尚頂相
			絹本著色十六羅像″
			紙本著色滝見観音図雪村筆
			絹本著色如意輪観音図
			木造十一面観音菩薩像
			木造神像
			螺鈿蒔絵香盆
			正宗寺所蔵文書
			日蓮書状
			日乗日記
			阿弥陀堂本堂
			阿弥陀堂楼門
			堀江家書院
			絹本著色五大尊絵像
			絹本著色両界曼荼羅
			木造阿弥陀如来坐像
			木造持国天像
			木造女神像
			直牒洞の石仏
			木造仁王像
			木造千手観音立像（附伝千手観音焼損像１躯、 伝胎内納入供養札１枚）
			木造不動明王立像
			鋳造阿弥陀如来立像
			木造阿弥陀如来立像
			鰐口
			木造阿弥陀如来立像
			木造聖徳太子立像
			能面

表 2-5（2）　久慈川流域の文化財

県	市町村	区分	名称
茨城県	常陸太田市	国選択無形民俗文化財	金砂田楽
		県指定有形文化財	佐竹義昭奉加帳
		県指定無形民俗文化財	西金砂神社田楽舞
		県指定無形民俗文化財	火消行列
			東金砂神社田楽舞
			西塩子の回り舞台
		県指定無形文化財	西の内紙　（手漉和紙）
	那珂市	国指定有形文化財	紙本著色拾遺古徳伝
			絹本著色法然上人像
			銅印（附印笥１合）
			紙本著色聖徳太子絵伝
		県指定有形文化財	紙本著色三十六歌仙
			涅槃図
			智光曼荼羅
			清海曼荼羅
			絹本著色滝見観音図
			銅造阿弥陀如来立像
			説相箱
			七官青磁香炉台
			八稜鏡
			了誉筆別当職譲状
			日本書紀私鈔並二人王百代具名記
			阿弥陀経
			鈴木家住宅
			木造阿弥陀如来立像
			木造阿弥陀如来及両脇侍立像
			木造薬師如来坐像
			木造毘沙門天像
			木造吉祥天像
			木造善尼童子像
			紙本墨書大般若経（附唐櫃３合）
	大子町	県指定有形文化財	浅川獅子頑
		県指定無形民俗文化財	浅川のささら
	東海村	県指定有形文化財	人物埴輪

2）久慈川にまつわる歴史・史跡等

①久慈川の名前の由来

現在の久慈川流域の地形が形成されたのは、地質学的に、最後の海水面上昇が終り、海が退いた縄文時代である。人々は高台から沖積平野に下りて稲作をはじめた。人々が久慈川と生活のかかわりをもつ様になったのは、この時代からと考えられる。

古代人の足跡は、出土した土器や石器縄文、弥生そして古墳など様々な遺跡として今に伝えられている。この地方の昔の様子を書き記した貴重な文献である、奈良時代の初め和銅六年（713年）に編纂された『常陸国風土記（ひたちのくにふどき）』には、久慈の地名の由来や川の様子が記されている。

「古老のいへらく、郡（こおり）より南、近く小さき丘あり。かたち、鯨鯢（くじら）に似たり」倭武（やまとたける）の天皇（すめらみこと）がこの地方を久慈と名づけたとあり、これが久慈の地名のひとつの由来と考えられている。

写真2-9　「久慈」の名の由来とされる「鯨鯢の岡」
（常陸太田市）

②遺跡・古墳

久慈川に臨んだ常陸太田市の幸久地区や那珂市の額田地区には古代の遺跡や古墳が多く分布している。これら遺跡等は台地で多く確認されている。人々は洪水が氾濫する低地を避け、高台に住居を置き、川が氾濫する沖積平野では稲作を行い、川では魚介類を採取していた。こうした遺跡や文献により、当時の人々が久慈川に対して抱いた恵みと恐れをうかがい知ることができる。

常陸太田市島町にある古墳で、13 基の高塚墳と百穴とよばれる横穴群よりできている、この古墳群を梵天山古墳群とよんでいる。主墳は梵天山古墳で、全長 151m で、茨城県では石岡市の舟塚山古墳（全長 182m）に次ぐ大規模な前方後円墳である。古墳時代前期の古墳と推定される。

この古墳は当時、豊かな久慈川の水田地帯を控え,大きな勢力をもっていた久自国造舟瀬足尼の墓と考えられている。昭和 28 年 7 月 9 日、茨城県指定文化財（史跡）に指定された。

図2-2　梵天山古墳位置

写真2-10　梵天山古墳入口
（常陸太田市）

③防人の碑

奈良時代には、わが国を外敵から守るため、東国から多くの若者たちが徴集され、はるか西の果ての筑紫国（北九州）まで、防人として派遣された。だが、こうした若者たちに、無事に故郷へ帰れる保障はなかった。『万葉集』には、それぞれの故郷から出征した若者たちの離別の歌が、数多く収録されている。丸子部佐壮は、久慈川のほとりから防人として出征した若者の一人で、「久慈川」に託して次のように詠んだ。

久慈川は　幸くあり待て　潮舟に　ま梶しじ貫き　我は帰り来む

「久慈川よ、変わらず待っていてくれ。私は潮舟に梶をいっぱい通し、帰ってこよう」

現在、幸久橋のほとりに、この歌を記した碑文が建っている。

写真2-11　防人の歌碑
（常陸太田市）

④西金砂神社・東金砂神社の田楽

常陸太田市上宮河内町にある西金砂神社と、常陸太田市天下野町にある東金砂神社の大祭礼が平成 15 年 3 月にとり行われた。これは 72 年に 1 度行われるという珍しい祭りである。両神社から日立市の水木浜まで約 50km の道のりを 6 泊 7 日かけて、神輿の行列が練り歩き、各地で神事、田楽などを奉納する。祭りの行列は水木浜で海水を汲んで神体を清める。

金砂という地名は平成の市町村合併で無くなったが、常陸国風土記にも記載のある古い歴史のある土地で、古代には郡家も置かれた。西金砂神社、東金砂神社ともに 806 年創建の古い由緒を誇る。例祭は 72 年毎の大祭礼と 7 年毎の小祭礼が行われ、仁寿元年（851 年）から始まったとされる。

伝説によると、西金砂神社の神は女神で、東金砂神社の神に嫁いで夫婦になったとされ、この二神が協力して国を治め、天下太平、五穀豊穣、万民豊楽を祈願するとされている。西金砂神社の田楽は「四方固め」「獅子舞」「種まき」「一本高足」の 4 段からなり、悪霊を鎮め、神々の恩恵を祈願し、豊穣を祈る。

この祭礼は昭和 46 年に国選択無形民俗文化財に指定されている。

四方固め

獅子舞

種まき

一本高足

写真2-12　西金砂神社の大祭礼の様子（平成 15 年）

（写真：常陸太田市 HP）

(3) イベント・観光資源

久慈川流域の市町村では、古くから流域の住民の生活に根付いている伝統行事や祭り、水面や河川敷を利用した各種のイベントが数多く開催されている。

また、上中流部では奥久慈県立自然公園に指定され、豊かな自然を楽しむキャンプ場、アユの釣り場や観光やな、矢祭山や袋田の滝等の景勝地、温泉等の観光資源が見られる。

下流部では歴史や文化を学ぶことが出来る史跡や施設等の観光資源が存在する。

表 2-6に久慈川流域市町村内のイベント、観光資源を示す。

表2-6（1）　久慈川流域市町村のイベント・観光資源

県	市町村	イベント	観光資源
福島県	棚倉町	十万石棚倉城まつり、ルネサンス花火大会、棚倉夏まつり、棚倉秋まつり、城下町棚倉わくわくフェスタ、霜月大祭、御田植祭	赤館公園、亀ヶ城公園、宇迦神社、馬場都都古和氣神社、蓮家寺、長久寺、八槻都々古別神社、山本不動尊、奥久慈県立自然公園、八溝山、天狗党の墓、城跡ポケットパーク、時の鐘ポケットパーク、棚倉町文化センター、棚倉町総合体育館、ルネサンス棚倉
	塙町	塙町産業祭、塙流灯花火大会、愛宕神社祭礼、出羽神社祭礼	不動滝、あぶくま高原美術館、那倉川渓谷、かっぱのすり鉢遊歩道、塙代官所跡、向ケ岡公園、風呂山公園
	矢祭町	桜まつり、つつじ祭、「やまつり太郎と花子の追分ぐらし」日帰りコース、矢祭トライアスロン、鮎と鯉のつかみどり、元気や祭り	矢祭山、月見橋、館山ふるさとランド、県立自然公園矢祭山、滝川渓谷、東白河グリーン・ツーリズム
	鮫川村	戸倉の里「福寿草まつり」、鮫川ふるさと春まつり、ニジマス釣天狗行楽会、さわやか高原ロードレース大会、鮫川花火大会、八幡神社祭礼、ふるさと相撲大会、高原の鮫川『うまいもの祭り』、秋の新そば祭り	江竜田の滝、二段田の桜、西山のイチイ、富田薬師堂（木造薬師如来像）、渡瀬村救荒修祭記碑、渡瀬の獅子舞、追分石、熊野神社、越惣太郎就縛の地、切石観世音、木造楊柳観音菩薩坐像、折戸阿弥陀三尊像、赤坂家長屋門、諏訪神社、根渡神社、鬼越神社、愛宕神社、八雲神社、赤坂八幡神社、八坂神社、天満神社、妙見神社、富田八幡神社、北野神社、渡瀬熊野神社、長遠寺、東光寺、観音寺、名下乳付観音堂、大塩観音堂、世々麦薬師堂、岩野草地蔵堂、官沢地蔵堂、西野内地蔵堂、戸草地蔵堂、東翁蛭田玄仙顕彰碑
	浅川町	白旗神社雷神様祭、一矢天王祭、秋葉神社祭礼、破石大六天王祭、花火の里 浅川ロードレース大会、来福寺薬師様祭、盆踊り大会、花火の里フェスティバル、花火の里フェスティバル、浅川花火大会、風袋祭、白山比咩神社礼大祭、総合文化祭・花火の里、ウォークラリー大会、白山比咩神社除夜の花火打ち上げ、白山比咩神社元町参り	城山公園、吉田富三記念館、からす餅、馬頭観音堂礼拝、七人坊主「五智如来」、風袋様、宥貞法印入定ミイラ
茨城県	日立市	初日の出ビュー、かみね公園正月祭り、鳥追いまつり、日立市消防出初式、市民凧あげ大会、当屋祭、火伏まつり、スプリングフェスティバル、さくらまつり、日立さくらロードレース、春季回向祭、かみね公園ちびっこまつり、　春のきららの里まつり、日立港まつ り、日立あんどんまつり、河原子海上花火大会 、十王まつり、よかっぺまつり、秋のきららの里まつり、ひたち秋まつり～郷土芸能大祭～、日立港秋の味覚まつり、かみね公園秋まつり、秋季回向祭、そばまつり IN 奥日立きららの里、日立市産業祭、ヒタチスターライトイルミネーション、暮市	かみね公園、奥日立きららの里、鵜来来の湯 十王、伊師浜海水浴場、川尻海水浴場、会瀬海水浴場、河原子海水浴場、水木海水浴場、水木海水浴場、久慈浜海水浴場、日立シビックセンター、吉田正音楽記念館、日鉱記念館、小貝ヶ浜緑地、小木津山自然公園、風陣山自然公園、助川山市民の森、イトヨの里泉が丘公園、十王パノラマ公園、伊師浜国民休養地

（出典：各市町村 HP）

表 2-6（2）　久慈川流域市町村のイベント・観光資源

県	市町村	イベント	観光資源
茨城県	常陸太田市	さくらまつり、竜神峡こいのぼりまつり、特産物フェア「春の味覚祭」、コシヒカリオーナー制（田植え体験）、釣り大会、花菖蒲まつり、竜神峡灯ろうまつり、太田まつり、常陸秋そばオーナー制（種まき体験）、コシヒカリオーナー制（稲刈り体験）、常陸秋そばオーナー制（収穫体験）、竜神峡紅葉まつり、特産物フェア「秋の味覚祭&かかし祭り、常陸秋そばフェスティバル、産業文化祭、都々逸全国大会、西金砂登山マラソン大会、イルミネーション祭り、すいふ蕎麦まつり、親子ふれあいロードレース大会、生涯学習フェスティバル、磯出大祭礼	西山荘、西山の里（桃源・晏如庵）、西山公園、佐竹寺、馬坂城跡、久昌寺、正宗寺、雪村の碑、山寺晩鐘、太田落雁、都々逸坊扇歌の碑、枕石寺、防人の碑、粟原つり場、ふるさとの森マウンテンバイクコース、西金砂湯けむりの郷（金砂の湯、金砂庵）、西金砂そばの郷（そば工房、もみじ荘）、物産センターこめ工房、親沢池親水公園、水府竜神ふるさと村、竜神大吊橋／水府物産センター、水府観光物産館（そばハウス龍亭）、ふるさとセンター（竜っちゃん乃湯）、プラトーさとみ、里美野外活動センター、里美観光農園うぐいすの里、里美温泉保養センター「ぬく森の湯」、道の駅「さとみ」、里美ふれあい館
	那珂市	なかひまわりフェスティバル２００７、ひまわり畑　生育状況、那珂市歴史民俗資料館収蔵品展「講～人々と信仰～」、自然体験ツアー、公民館シアター、白鳥の飛来地 那珂市、茨城県植物園催し物	静峰ふるさと公園、一の関ため池親水公園、しどりの湯保養センター、茨城県植物園・熱帯植物館、鳥獣センター、茨城県きのこ博士館、森のカルチャーセンター、那珂太鼓、門部ひょっとこ踊り、大助ばやし、劇団「たっつあい」
	常陸大宮市	ふるさと祭、灯ろう流し、あゆの里祭り、やまがた宿芋煮会、御前山納涼花火大会、やすらぎの里公園桜祭り、美和ふるさと祭り、夏祭り／祇園祭、御前山納涼花火大会、やすらぎの里公園桜祭り、美和ふるさと祭り、夏祭り／祇園祭、西塩子の回り舞台、山方宿の祇園、長倉の七夕祭り、鷲子祇園祭、緒川祭囃子、上小瀬の祇園祭、花立星まつり、ふるさと 歳・時・記	西部総合公園、辰ノ口親水公園、パークアルカディア、陰陽山森林公園、三王山自然公園、御前山青少年旅行村、やすらぎの里公園、花立自然公園、三浦杉公園、久慈川・那珂川、宇留野公園、大宮自然公園、大賀ファミリー公園、常陸大宮市運動公園、ふれあい農園（大宮地域）、大宮ふれあいギャラリー、御城展望台、休場展望台、淡水魚館、ふれあい農園（山方地域）、御前山ハイキングコース、甲神社、雷神山にある横穴群、聖徳太子立像、西方寺、雪村筆洗の池、歴史民俗資料館 大宮館、歴史民俗資料館 山方館、籠岩、鏡岩、御城展望台、陰陽神社、蒼泉寺、蒼泉の板戸絵 蒼泉寺、寿命寺の聖徳太子立像、風車の弥七の墓、鹿島神社本殿、義民本橋次左衛門の碑、百観音自然公園、小瀬沢川の紙すき場跡、鷲子山上神社、三浦杉、聖徳太子立像、諏訪神社本殿、花輪組の屋台、大宮今昔物語、日向神社、乗蓮院、種生院、誕生寺、法専寺、常弘寺、松吟寺、高長寺、大宮地域の民話、阿弥陀如来立像１体、佐竹義昭公奉納「奉加帳」1 巻、甲神社能面、箱石、犬吠峠、かやの木地蔵、三太と沢又の開墾、江畔寺、立野神社、阿弥陀院
	大子町	中田植(ちゅうだうえ)、花火大会と灯ろう流し、八溝嶺神社祭礼	袋田の滝、生瀬の滝、月待の滝、八溝山展望台、男体山登山、湯沢峡の谷登り、観光やな、シガ、奥久慈茶の里公園、大子ふれあい牧場、大子広域公園、フォレスパ大子、奥久慈憩いの森、道の駅だいご、大子おやき学校、観光りんご狩り、キャンプ、オートキャンプ場 グリンヴィラ、七福神巡り、浅川のささら、日輪寺、鉾杉、如信上人終焉の地、芭蕉の碑、高徳寺山門
	東海村		海十二景（稲荷社杉風、富士社晩霞）、石神城春草、願船寺晩鐘、久慈川河口緑波、白方溜螢影（しらかたためけいえい）、阿漕ヶ浦夜桜（あこぎがうらやおう）、細浦青畝（ほそうらせいほ）、村松晴嵐（むらまつせいらん）、如意輪寺秋月（にょりりんじしゅうげつ）、真崎浦夕昭（まさきうらせきしょう）、住吉社寒霜（すみよししゃかんそう））、原子力科学館、日本原子力研究所、村松山虚空蔵堂

（出典：各市町村 HP）

2.4　自然公園の指定状況

久慈川流域では、福島県によって奥久慈県立自然公園が指定され、茨城県によって奥久慈、太田、花園花貫、高鈴の各県立自然公園が指定されている。指定状況は表 2-7、及び図 2-3の通りである。

表2-7自然公園の指定状況

県	名称	面積（ha）	指定年月日
福島県	奥久慈県立自然公園	4,831	昭和 23 年 10 月 18 日
茨城県	奥久慈県立自然公園	10,410	昭和 28 年 3 月 20 日
	太田県立自然公園	2,784	昭和 26 年 7 月 13 日
	花園花貫県立自然公園	24,826	昭和 28 年 3 月 20 日
	高鈴県立自然公園	3,084	昭和 54 年 10 月 20 日

図2-3久慈川流域自然公園指定状況

2.5　河川の利用状況

(1) 内水面漁業

久慈川の内水面漁業における主な漁業対象は、アユ、サケ、コイ、フナ、ウグイである。久慈川の漁獲量の推移は図 2-4のとおりである。

アユについて奈良時代の「常陸国風土記」には「郡（こおり）の北二里に山田の里あり。多く墾田（はりた）（新田のこと）となれり。あらゆる清き河は、源（みなもと）、北の山におこり、近く郡家（こおりのみやけ）の南を経て、久慈の河に会う。多く年魚（あゆ）を取る。大きさ腕（ただむき）のごとし」とあり、アユが奈良時代から漁労の対象であり、流域の人々と関わり深い魚であったことがわかる。平成 16 年度の農林水産省の調査によると、全国の河川の中で第 3 位の漁獲量を誇る。また、サケについても、戦国時代に石神城主（現在の東海村石神内宿（いしがみうちじゅく））と額田城主（現在の那珂市額田）が貴重なタンパク源であったサケを巡って争いを起こし、半月交代でサケを捕る協定を結んだ記録が残されている。

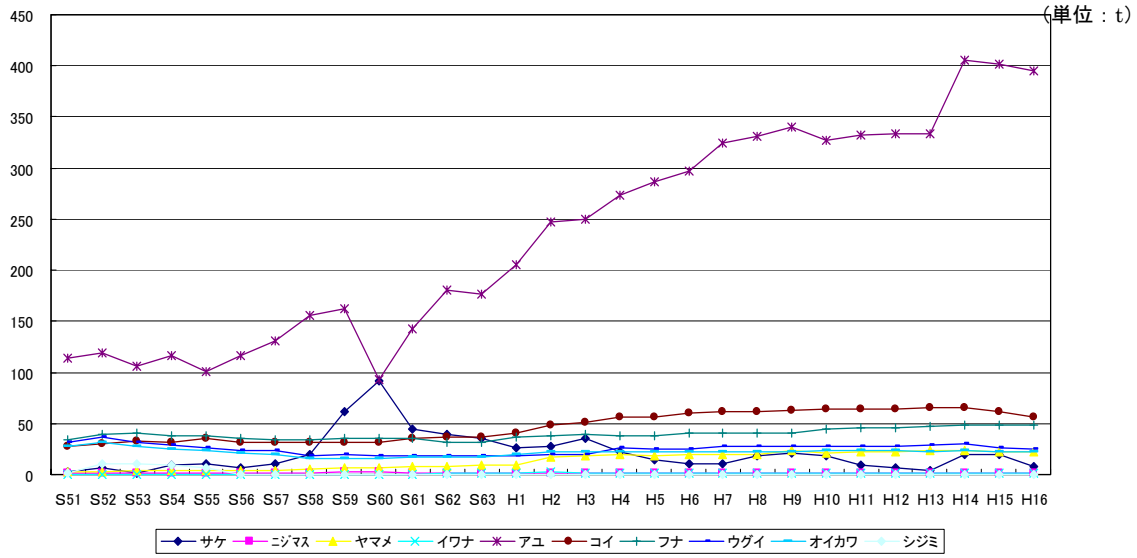


図2-4久慈川の内水面漁獲量の推移

（出典：農林水産省漁業・養殖業生産統計年鑑）

表 2-8全国河川のアユの漁獲量上位 10 位（平成 16 年度）

順位	河川名	漁獲量（ｔ）
1	那珂川	880
2	相模川	427
3	久慈川	395
4	木曽川	223
5	利根川	214
6	球磨川	207
7	筑後川	191
8	肱川	187
9	有田川	173
10	淀川	173

（出典：農林水産省漁業・養殖業生産統計年鑑）